

## 近畿大崎町会盛大に開催 地元特産品大好評！

10月31日（日）、第22回近畿大崎町会（会長諸木一義さん：会員数約630名）が大阪市内のホテルで開催されました。

大崎町からも町長をはじめ、議会代表、商工会役員理事など多数参加し、会員を含め全体で約200名が集い盛大な会となりました。

また、今回初めての試みとして、商工会員の皆さんが会場の一角に特産品コーナーを設け、地元特産の米、チリメン、焼酎などの販売を行い、参加者から大変好評を得ていました。

販売にあわせてアンケート調査も実施され、商工会では今後の新たな特産品の開発、販売方法の参考に活用したいとのことでした。



▲会場には、商工会員が持ち込んだ特産品がずらりと並び、参加した近畿大崎町会員の皆様に好評を得ていました。

## ふるさと学寮

### ～自立への挑戦～

10月25日（月）、11月8日（月）からそれぞれ5泊6日で親元を離れ、共同生活を体験するふるさと学寮が行なわれました。

参加した43名は、炊事・洗濯・掃除などを行い中央公民館に寝泊りしながら、学校に通いました。

このふるさと学寮は、“自立への挑戦”を目標に掲げ、共同生活を通して課題を発見し、自ら行動する自立心を養うことを目的に実施しています。

参加者は、主にグループ行動を中心に活動を行いましたが、1日1日を過ごすごとに緊張がほぐれ自然と友達の輪が広がり、互いに協力し合いそれぞれの役割を一生懸命に果たそうとしていました。

また、いつも当たり前にいる親の存在に感謝の気持ちを新たにしました。



▲共同生活で自立への一步を踏み出すことができました。

## 地域が育む！

### かごしまの教育『県民週間』

県では、毎年11月1日～7日の期間を「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」として設定しています。

これは、この期間に多くの方々为学校開放等の行事に参加し、学校や子ども達の様子を見ていただき、これからの子ども達の教育について考えてもらおうというものです。

県民週間に合わせ町内の小学校では、保護者に自由に授業の様子を見ていただく、学校参観週間を設けたり、地域の方との交流会などを行ないました。

11月2日（火）、大崎小学校では、1・2年生の児童が劇や音楽発表会を行い、子ども達は訪れた保護者らに成長した姿を見せました。



▲学校開放の行事等に参加することにより、一人ひとりが『教育』について気運を高めてもらうことを願っています。